

千葉大学病院にて大腸癌および大腸癌肝転移の手術を受けられた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2023年10月6日

肝胆膵外科

肝胆膵外科では「ポリコームタンパク YAF2 による大腸癌の進展、転移、再発における制御機構の解明に関する研究」を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2003年1月1日～2023年3月31日の間に当院で大腸癌および大腸癌肝転移に対し手術を受けられた方

1. 研究課題名

「ポリコームタンパク YAF2 による大腸癌の進展、転移、再発における制御機構の解明」

2. 研究期間

2023年承認日～2026年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

大腸に癌が発生し増殖や進展をしていく過程は、多くの研究が進められていますが未だに解明されておられません。同じ大腸癌でも進行速度や、他臓器への転移、再発のしやすさが異なることが知られており、様々な因子により複雑にコントロールされていると考えられています。

本研究では、遺伝子のはたらき、調節に関わるタンパク質のひとつである YAF2 (Yin Yang 1 associated factor 2) に注目し、大腸癌におけるタンパク質 YAF2 の役割を明らかにすることで、タンパク質 YAF2 を標的（治療の対象）とした新しい治療や、大腸癌の

早期発見につなげることを目標としています。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

2003年1月から2023年3月までの間において、手術時に採取された組織検体、診療録に記載されている性別、年齢、身長、体重、病歴、血液検査値、診断、当科で行った術前、術後の検査、治療の結果、手術の方法、合併症、手術検体、治療経過、予後について調べます。

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究責任者 肝胆膵外科 科長 大塚将之

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科

医師 大塚将之、酒井望、佐藤駿介

043(222)7171 内線5286

